

# IV

## 就業の状況

### 1 年齢別の就業状況

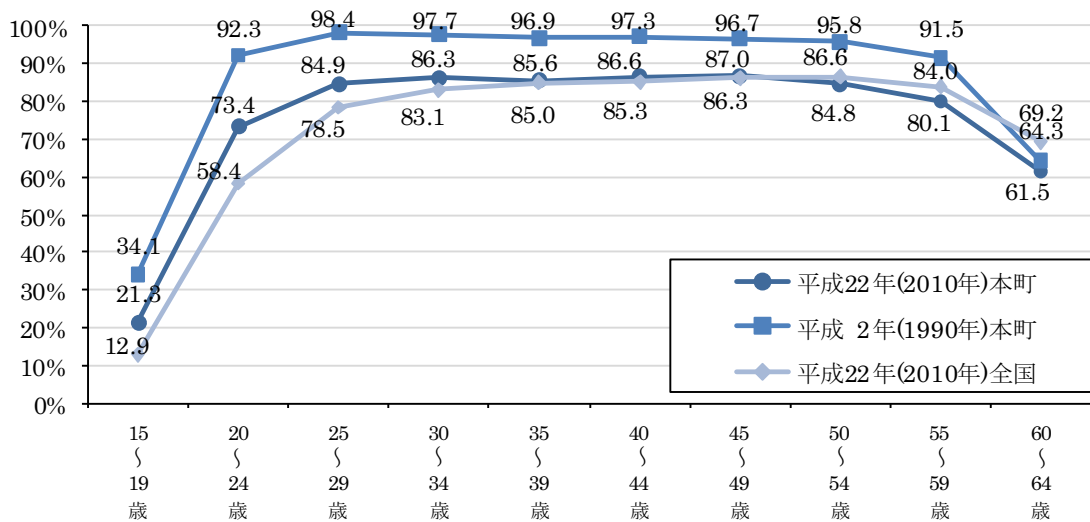
〈20～30 歳代の男性の就業率は全国を上回り、女性は全国値と同水準〉

平成 2 年（1990 年）と平成 22 年（2010 年）の男女別・年齢別の就業率を比較すると、出産・子育て期である 20～39 歳では、男性の就業率が全体的に下がっているのに対し、25～39 歳の女性の就業率は上がっています。

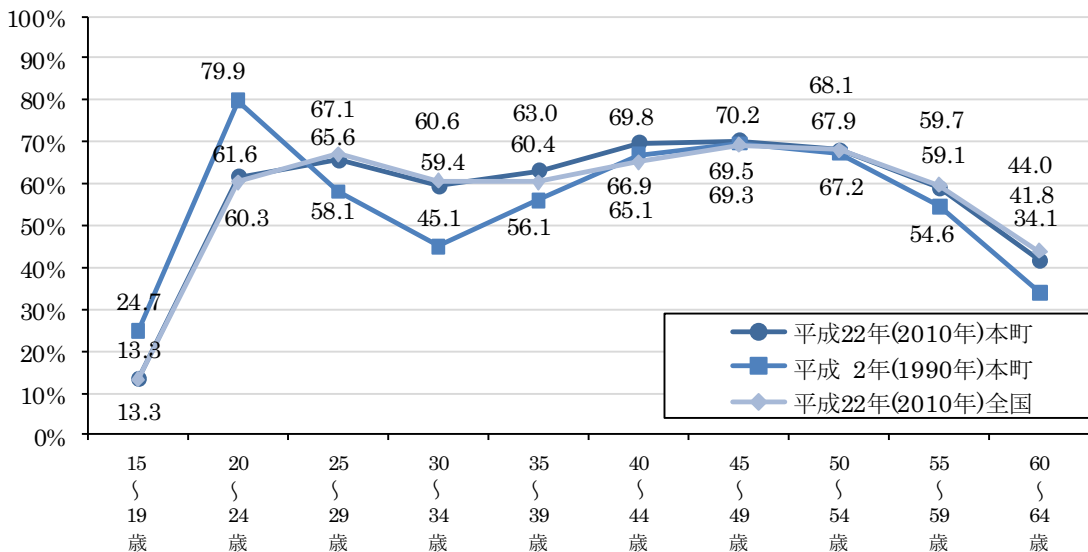
また、平成 22 年（2010 年）について、本町と全国を比較すると、本町の実業率は、20～39 歳の男性は全国値を上回っているとともに、この年代の女性はほぼ全国値と同水準となっています。

#### ■男女別・年齢別の就業率

【男性】



【女性】



国勢調査より作成

## 2 産業別就業人口

### 〈男女とも製造業の就業率が極めて高い〉

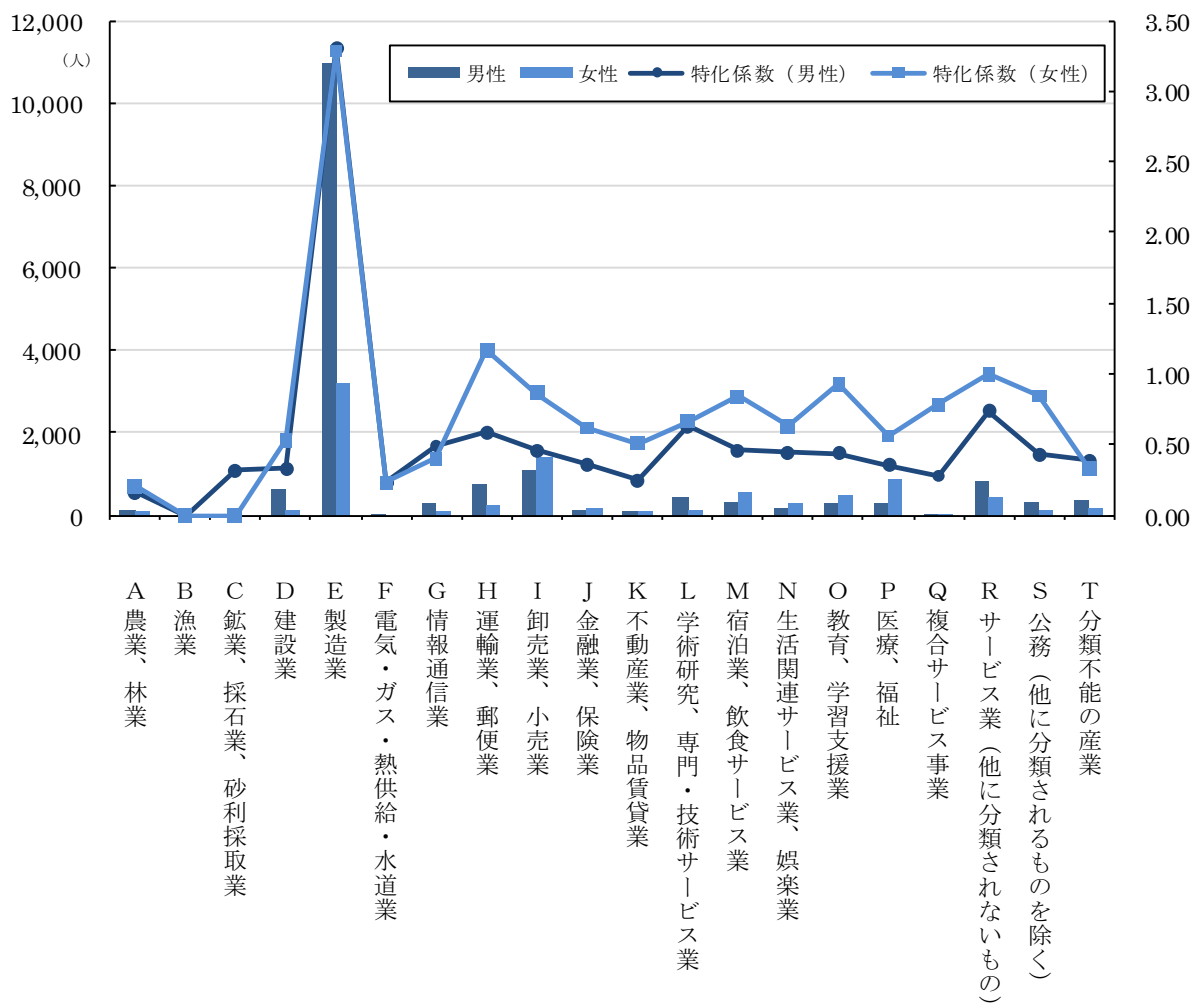
産業別就業人口をみると、男性は、製造業の就業者が最も多く、次いで、卸売業・小売業、運輸業・郵便業の順となっています。

一方、女性も製造業、卸売業・小売業の順となっていますが、3番目に医療・福祉が多くなっています。

就業面で相対的に特化している産業を把握する特化係数（町のX産業の就業者比率／全国のX産業の就業者比率）をみると、製造業について男性が3.30、女性が3.28と極めて高くなっています。

製造業以外の他の産業は、女性の運輸業・郵便業の1.16を除くすべての特化係数が全国の産業別就業者比率と同等である1.00を下回っています。

### ■産業別就業人口と特化係数：平成22年（2010年）



国勢調査より作成

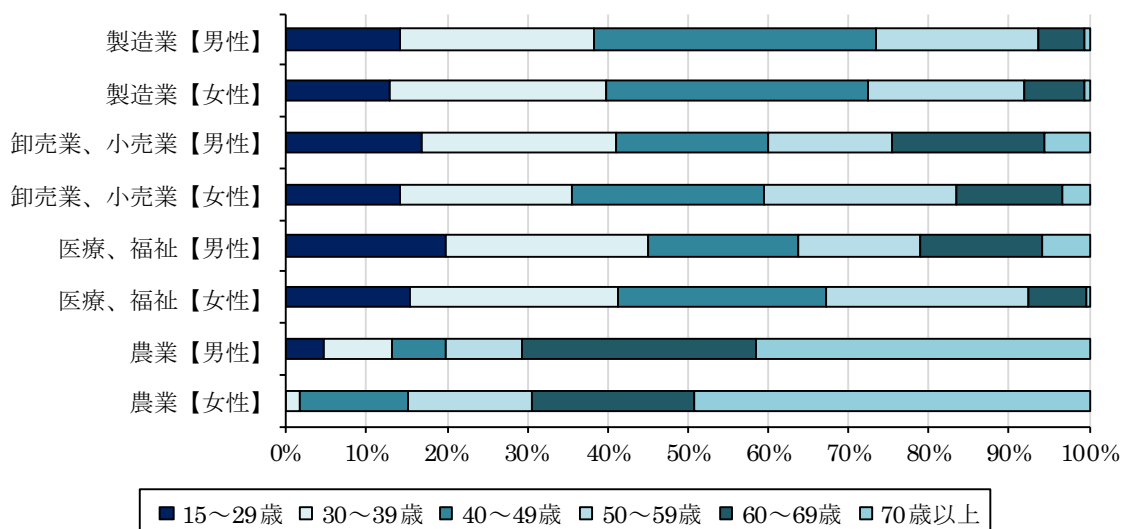
### 3 就業者の年齢構成

〈製造業の男性は40歳代、女性は30歳代後半から40歳代前半の層が多い〉

就業者の年齢構成をみると、製造業の男性については、40歳代が4割弱を占め、30歳代が2割強となっています。

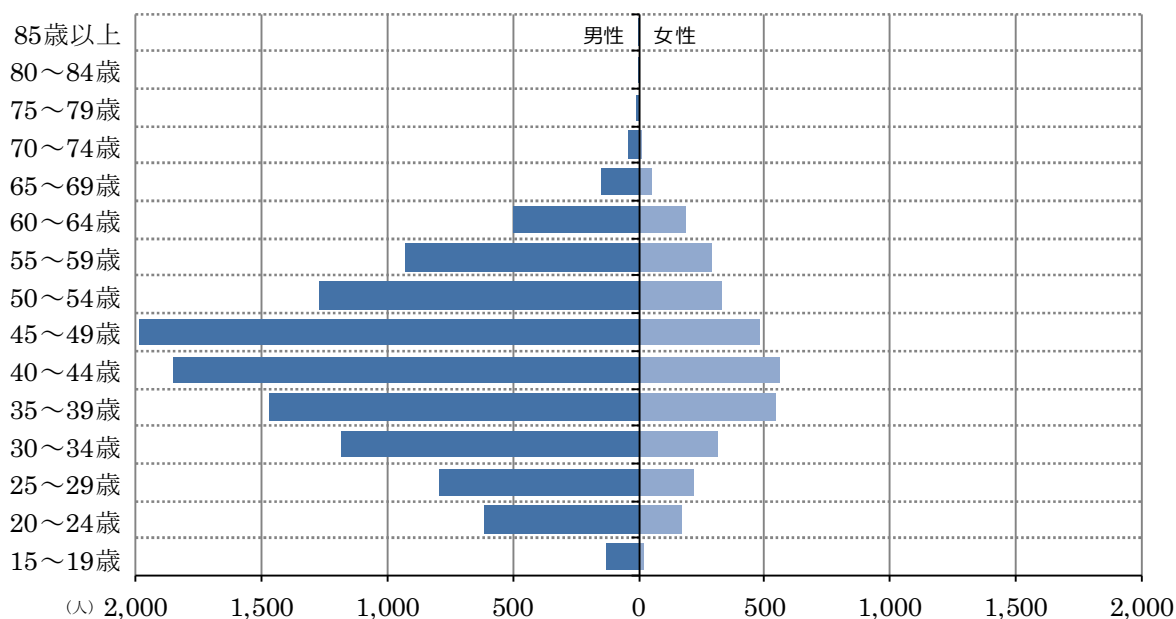
また、卸売業・小売業、医療・福祉の男性、医療・福祉の女性については、30歳代が多くなっており、農業については60歳以上が約7割を占め、高齢化が進んでいます。

#### ■主要な産業別就業者の年齢構成：平成22年（2010年）

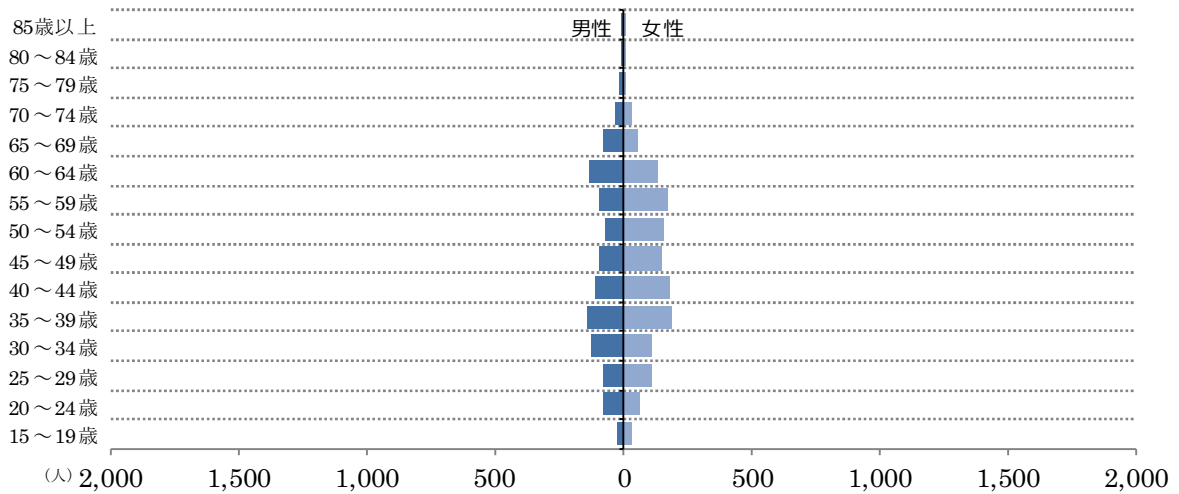


国勢調査より作成

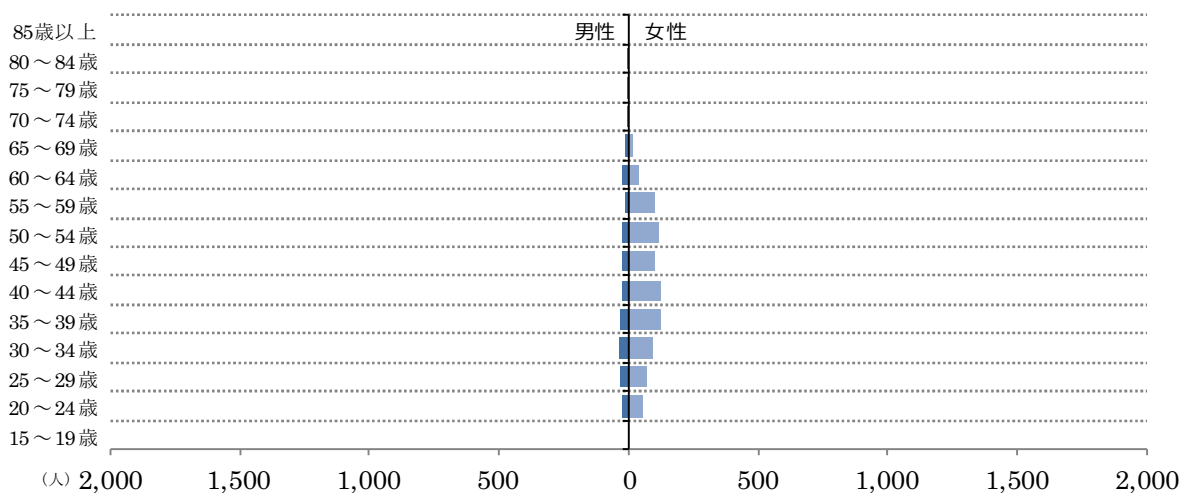
#### ■製造業就業者の年齢分布：平成22年（2010年）



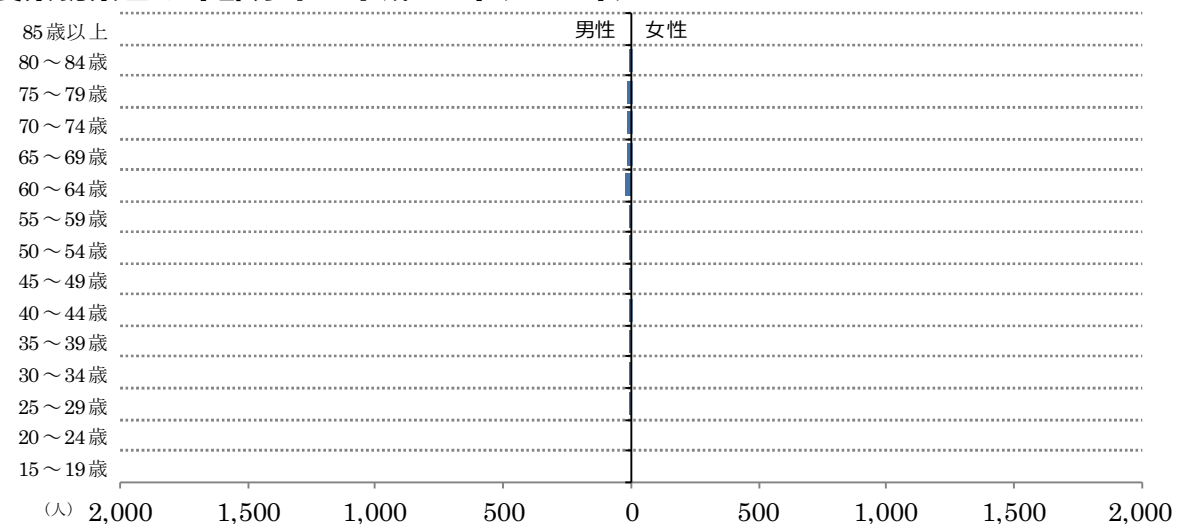
■卸売業、小売業就業者の年齢分布：平成22年(2010年)



■医療、福祉就業者の年齢分布：平成22年(2010年)



■農業就業者の年齢分布：平成22年(2010年)



国勢調査より作成

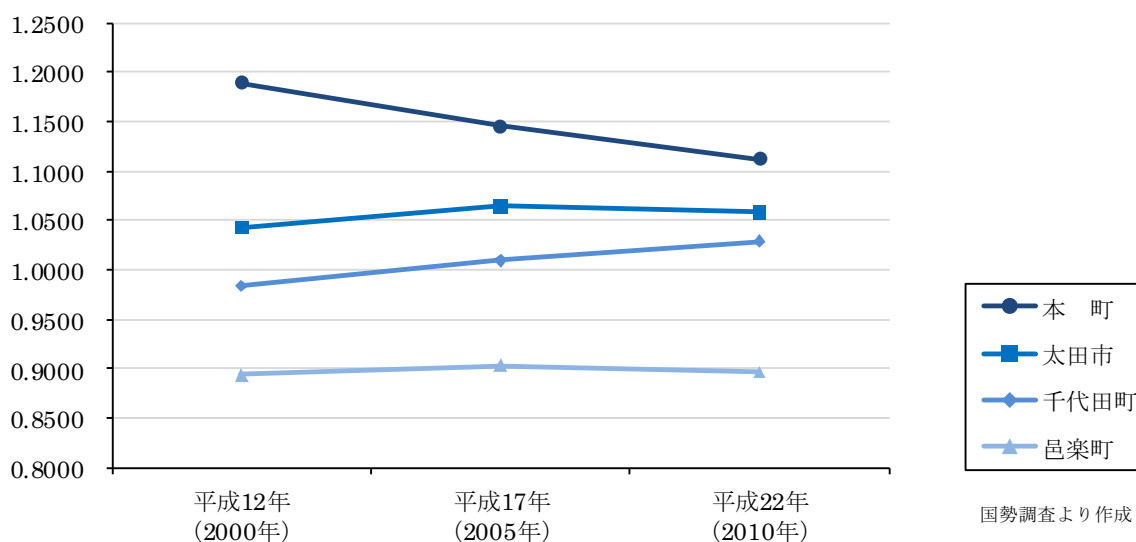
## 4 昼夜間人口比率

### 〈昼夜間人口比率の低下続くも、群馬県内では最も高い〉

昼夜間人口比率について、平成22年（2010年）時点で、他の地域と比較すると、群馬県内では最も高く、近隣地域と比較しても高い状態を保っています。また、本町は、全国（1,742自治体）の中で、昼夜間人口比率が高い順で見ると71番目に位置します。

全国的にも昼夜間人口比率は高い状況ですが、推移をみると昼夜間人口比率は低下が続いており、近隣市町と比較しても、その低下率は大きくなっています。平成17年（2005年）から平成22年（2010年）にかけては0.03ポイント低下し、当地に常住する就業者・通学者数は約2,200人少なくなっています。

### ■昼夜間人口比率の推移（近隣市町との比較）



### ■本町の昼夜間人口比率の推移

(人)

年	人口	大泉町に常住する就業者・通学者数	大泉町で従業・通学する就業者・通学者数	昼間人口	昼夜間人口比率
	A	B	C	D=A-B+C	D/A
平成12年(2000年)	41,403	24,704	32,536	49,235	1.1892
平成17年(2005年)	41,466	24,276	30,323	47,513	1.1458
平成22年(2010年)	40,257	22,024	26,537	44,770	1.1121

国勢調査より作成